

観光振興に期待高まる...

世界ジオパーク

洞爺湖有珠山 ジオパークを認定!



決定の垂れ幕の前で喜びをあらわす関係者長ら

8月22日から中国・泰安市で開かれていた「第3回ジオパークにおける進歩に関する国際シンポジウム」の中で、世界ジオパークネットワークの事務局会議がもたれ、8月23日同事務局が、洞爺湖有珠山ジオパークが国内2地域を、世界ジオパークに認定したと発表しました。日本国内初の登録で、日本から申請していた、洞爺湖有珠山新潟県の糸魚川、長崎県の島原半島の3地域がすべて決定となりました。

当日は、洞爺湖周辺地域エコミュニシリアム推進協議会(会長・

山中漢壮警町長)の事務局がある壮警町役場に関係市町村の首長らが集合。

午前11時過ぎに日本ジオパーク委員会事務局から電話が入り、応じた山中町長から世界ジオパークに認定されたことが報告されると、町長室に歓喜の和が広がり、万歳三唱がこだましました。

長崎町長は「サミット開催で世界中に発信したこの周辺地域の魅力をさらに深め、来年の洞爺湖温泉誕生100年を一層盛上げたい」と喜びを語りました。

来年洞爺湖温泉誕生100年 世界ジオパークと連動して成功を!

洞爺湖温泉は、明治43年の有珠山噴火によってもたらされた温泉で、来年誕生100年を迎えます。

G8サミット開催、世界ジオパーク認定と注目を浴び続ける洞爺湖の魅力を最大限にいかし、来年の誕生100年につなげることで洞爺湖温泉の活性化を図ろうと、町や洞爺湖温泉観光協会など官民の9団体で8月14日、100年記念事業委員会が組織されました。

8月20日には、第1回温泉誕生100年記念事業実行委員会が約30人が参加して開催。

若狭実行委員長(洞爺湖温泉観光協会会長)が「皆さんの力添えをいただいて、この地が発展することを願うものです」と挨拶。

引き続き、誕生100年の根拠についての説明、実行委員会の事業体制や事業内容についての意見交換が行われました。

10月8日(とうや)には、同記念事業として、具体的なイベント内容などの全体像を明らかにしていくことにしています。

洞爺湖温泉で撮影した思い出の写真を募集します。

来年洞爺湖温泉誕生100年を迎えるに当たって、1世紀に渡る歴史の中で貴方が最も思い出深い、洞爺湖温泉内で撮影した写真1枚をお送り頂けませんか?

洞爺湖ビジターセンター内にて、名前を掲示した上で展示します。

応募方法:名前、住所、電話番号、写真にまつわる思い出を記入し、洞爺湖温泉観光協会 洞爺湖温泉142-0142 75-2446)に郵送ください。



体制などを決めた第1回実行委員会

フットパスコースを整備 町建設協会ボランティアで

6月に町と交した「災害時における応急復旧に関する協定」の一環で、8月26日平常時の地域への貢献を目的に洞爺湖町建設協会(加藤恵蔵会長)が、洞爺湖有珠山フットパスコースの整備をボランティアで行いました。

当日は、会員各社の代表や、従業員らが集合し、同コースの「有くん火口」「珠ちゃん火口」付近の雨でぬかるみ、でこぼこになった散策路約100区間に、再生骨材(アスファルトの再生材)9立方を敷き詰めました。

加藤会長は「洞爺湖有珠山が世界ジオパークに認定され、多くの人が訪れてほしい」と今後の地域振興を願っていました。



フットパスコースを整備する町建設協会の皆さん